

次年度への引継事項

【運営面での問題点・引継ぎ事項】	
① 子どもの相対的貧困対策事業	
問題点 1	ワールドテラス 2023 における職業体験事業において、多くの委員会と連携する事業であったため、当初主導的に進めていく委員会がおらず、準備の初動が遅れました。
引継ぎ 1	他委員会と連携する事業においては、主担当を明確に設定し、準備の進行が遅れないようにすべきです。
問題点 2	まつりえれこっちゃんみやざき 2023 において子どもたちによる物販体験ブース出店を予定していましたが、まつりえれこっちゃんみやざき 2023 のルール上、実現することができませんでした。
引継ぎ 2	推進計画立案の段階ではルールがどうなるか不明であったためやむを得なかったとも言えますが、実行可能性を他団体や他事業に委ねる事業ではこのようリスクがあるため、そもそもそのような事業は行わないか、実現不可能となった場合の代替プランを検討しておくべきです。
問題点 3	子どもたちによる物販体験ブース出店事業を行わなかったことにより、連携団体であるガクセイ塾との連携が十分に行えませんでした。
引継ぎ 3	上記のとおり、代替プランを検討する等して、十分な連携が図れるようにしておくべきです。
② ベビーファースト運動推進事業	
問題点 4	ベビーファースト宣言企業が 32 社にとどまり、KPI を達成することができませんでした。
引継ぎ 4	主に LOM 内におけるメンバー企業の参画を図るため、1 人 1 人に声掛けを行い申込書等を手渡ししましたが、その後のフォローができておらず、回収が捗りませんでした。
問題点 5	ベビーファースト宣言のお願いを LOM メンバーにするにあたって、運動への理解が不十分であると感じました。
引継ぎ 5	メンバーへお願いした際、例えば「うちの会社では実現できない（から宣言しない）」といった回答で協力を頂けないケースが散見されました。例会等の全体事業での説明だけでなく、個々のメンバーへ運動の意義を説明することが大事です。
③ 育 LOM 推進事業	
問題点 6	Famili Day について、設定当初はメンバーからも意識されていましたが、年度後半になるにつれて意識が薄れているように感じました。
引継ぎ 6	設定当初のみならず、折に触れて案内を行うことが必要です。
問題点 7	例会への託児制度、子連れ参加制度について、4 月例会及び 11 月例会の 2 回の実施にとどまりました。
引継ぎ 7	4 月例会メインアワーの報告議案でも記載しましたが、託児制度は利用する団体によって事前に申し込んだ子どものみ利用できる等、利用が難しい面があります。11 月例会ではメンバー企業と連携したため、次年度以降に向けて、さらなる活用方法を検討すべきです。
【予算面の問題・引継ぎ事項】	

問題点 8	当初計画していた SNS 広報を予定の半分程度しか実施しなかったため、予算消化が半分程度にとどまりました。
引継ぎ 8	予算計画を立てる際に十分に検討し実施可能な計画としておくこと、計画を立てたのであれば可能な限り実行することが大切です。